

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 藤岡市立西中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒375-0054

群馬県藤岡市上大塚639

E-mail nishi-jhs@fujioka-school.gunma.jp

Website http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1020004

幼児児童生徒数 男子 188 名 女子 168 名 合計 356 名

幼児・児童・生徒の年齢 12 歳 ~ 15 歳

3. 活動内容

(1) 活動の概要 ※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「かけがえのない地球環境の保全や発展途上の子どもたちの健康な生活・教育活動への貢献をしていくこと」を学校理念として、ESDを持続可能な社会の実現と捉え、ESDの実践を通して「コミュニケーションを行う力」や「他者と協力する態度」、「つながりを尊重する態度」の育成を目標とした。

具体的には、「西中ISO活動」を柱に、①「エコ&リサイクル」に係わる活動、②アジアの子どもたちへの支援活動、③ボランティアに関する学習を行った。

① 「エコ&リサイクル」に係わる活動

「循環型社会」の実現を目指し、3R活動①リデュース(ゴミを減らす)、②リユース(繰り返し使う)③リサイクル(再利用する)に、生徒会本部・環境委員会・JRC委員会を中心に、古紙・牛乳パック・ペットボトルキャップ・アルミ缶の回収などを、全校生徒で行っている。ペットボトルキャップやアルミ缶の回収にあたっては、校区内3公民館やコンビニエンスストア、ガソリンスタンド等にもお願いして回収し、さらに、地域の方々や西中学校区3小学校とも協力して、地域全体として「西中校区ISO活動」を推進している。

② アジアの子どもたちへの支援活動

藤岡市ボランティアネットワーク「ウィズ」を通して、「世界の子どもたちにワクチンを届ける」活動や「カンボジアの子どもたちへの支援活動」に協力している。特に「カンボジアの子どもたちへの支援活動」においては、8年前にカンボジアに「群馬藤岡小学校」を設立し、その後は、学用品送ったり井戸を掘ったりする活動等に協力している。

③ ボランティアに係わる学習

市ボランティアネットワークセンター運営委員の方を講師として招聘し、全校生徒に、「ボランティアから夢は広がる」という話をしていただいた。本校での活動に長い間ご協力いただいている方の話で、「『自分たちの活動がこのように役立っている』ということを知る機会となり、とても有意義な時間となった。」と生徒は感想を述べていた。



① 登校時のアルミ缶回収



② 生徒会通信の一例



② 「藤岡小学校」のプレート



③ ボランティアに係わる学習の様子

(2) 活動の詳細

① 活動内容 ※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

| | | | |
|---|---|--|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input type="checkbox"/> 3. 防災 | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他() | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

| | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間 (複数選択可)

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) | |

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

| |
|--|
| |
|--|

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

| |
|--|
| 総合的な学習の時間や学活、道徳において、ボランティアや環境について学習したり、生徒会専門委員会で話し合ったりし、生徒が積極的に関わられるようにしている。 |
|--|

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項1-4に対応

校内組織としては、環境(JRC)担当教員を主に、各学年1人の環境担当を置く。また、生徒会の専門員会にJRC委員会・環境委員会を設置し、生徒は「西中ISO」活動に積極的に関わられるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項1-5に対応

- ① ポートフォリオ評価により、学習活動や体験活動で使ったワークシートや作品、自己評価カードなどを累積し、生徒への取組状況や学習の成果を把握する。
- ② 生徒の実態や地域の特色に沿ったカリキュラムになるように、今年度の実践をもとに年度末に年間指導計画を見直し、具体的な活動内容の改善を図る。など。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項2-2に対応

生徒会JRC委員会によって、参加状況を掲示したり評価したりし、特に優れた学級を表彰している。また、それらの活動が他の生徒への啓発となり、参加率が増えた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項2-3に対応

藤岡市ボランティアネットワークセンター「ウィズ」を通して、「世界の子どもたちにワクチンを届ける」活動や「カンボジアの子どもたちへの支援活動」に協力している。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

まだ形成できていないことが今年度の課題となっているため、改善できるように工夫していく。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

認定されて1年の活動であるため、特筆すべき内容はまだありません。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ① 教員、生徒へのさらなる啓発活動に努める。
- ② 西中ISO活動、環境・福祉に関する取り組みの説明
- ③ アルミ缶・ペットボトルキャップの回収計画作成と呼びかけ
- ④ エコ&リサイクル活動の実践
- ⑤ 市民活動フェスティバルへの参加（西中ISO活動を発表）
- ⑥ 校区内小学校や地域への呼びかけ
- ⑦ 学用品や井戸掘削費の送付によるカンボジア群馬藤岡小学校運営への協力
- ⑧ 藤岡市ボランティアセンター「ウィズ」へのペットボトルキャップの引き渡し
- ⑨ 理解度や参加状況への評価